

日本文學論究

第七十三冊

目次

《シンポジウム》		
特集 〈私〉をめぐる言説―昭和10年前後の文学を中心に―		
方法としての「饒舌」と「説話」……………	安西 晋二 (2)	
―〈私〉をめぐる言説の側面―		
横光利一「純粹小説論」の〈境界〉性……………	井上 明芳 (12)	
小林秀雄「私小説論」の指向性……………	石川 則夫 (22)	
「道化の華」から見えてくる近代小説史……………	安藤 宏 (36)	
『古事記』序文の「壬申の乱」の位置づけ……………	高橋 俊之 (48)	
『万葉集』旋頭歌の形成……………	山田 優子 (63)	
―倉橋関係旋頭歌にみる繰り返し形式を中心に―		
大友旅人の「讃酒歌」と竹林七賢……………	矢崎 京子 (75)	
―劉伶を中心として―		
『平家物語』の変容に関する一考察……………	大谷 貞徳 (86)	
―巻第五「威陽宮」を中心に―		
國文學會通信……………		
彙報……………		
編集後記……………		
		(124)
		(119)
		(99)